

宝塚大学 創立 25 周年記念シンポジウム



いろ と こ ころ

～ 医療現場におけるいやしの環境としての新しい取り組み ～

日程

2012 年

8 月 25 日 土

15:00 ～

場所

宝塚大学
大阪梅田キャンパス

定員 300 名 参加無料 要事前申し込み

ナイチンゲールは著書『看護覚え書』に、“看護とは、患者の生命力の消耗を最小にするよう全てを整えること”と環境調整の大切さを記しています。近年の医療現場でもなお、医療行為だけでなく施設・設備・緑などのハード面の環境によって心をケアする必要性が注目されています。病院の廊下にさりげなく飾られている絵も、「題材」、「色調」、「その病院の診療分野」によって厳選されていることがあります。本講演では、色彩での心理作用を取り入れ、治療効果を向上させる建築デザインやホスピタルアートによっていやしの環境を実現したいいくつかの医療機関を具体的に紹介し、後半では芸術分野のパネリストとパネルディスカッションを展開します。

第一部

< 講演会：75 分 > シンポジスト：木村 千尋（宝塚大学非常勤講師 看護と芸術＜絵画療法＞担当）



木村 千尋

イリノイ州立大学心理学修士課程修了。サンフランシスコ・アートスクールでカラーコーディネートを学ぶ。その後、シトラス大学の研究科に所属し心理学全般と声帯心理学の研究を行う。又、表現アートセラピー研究においては、現在もセラピストを養成・輩出している。出産後英語教育に携わると共に児童心理学と色彩心理学を大学で指導。企業や諸団体に色彩心理学を使った研修や講演を行うと共に、ショーやイベントのトータルコーディネートをはじめ、諸施設のカラープロデュースや福祉住環境コーディネーターの養成も行っている。また、阪神大震災・東日本大震災の被災者に向けてのカウンセリングを通して、心のケアに尽力している。クリスKインターナショナル代表取締役、NPO環境色彩心理学協会理事、AFT 色彩検定カラーデザイナーコース講師

第二部

< パネルディスカッション：30 分 >

コーディネーター

大村 皓一（宝塚大学 副学長）

パネリスト

木村 千尋（宝塚大学 非常勤講師）

米倉 摩弥（宝塚大学 看護学部 基礎看護学 准教授）

向山 裕子（宝塚大学 博士（芸術学）、総合医療研究所 主任研究員）

池尻 篤志（宝塚大学 修士（芸術学）、宝塚大学 助手）

お申し込みについて

E-mail にてお申し込み下さい。

< 申込み用アドレス >

umeda-entry@takara-univ.ac.jp

郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号をご記入下さい。

尚、複数人数でのお申込みの場合、参加希望人数と、代表者以外は、氏名（ふりがな）のみご記入下さい。

折り返し確認のメールを返信致します。

先着順で定員になり次第締切ります。

会場へのアクセス

宝塚大学 大阪 梅田キャンパス

- ・阪急「梅田」駅（茶屋町口）より徒歩約 5 分
- ・JR「大阪」駅より徒歩約 10 分

〒530-0012

大阪市北区芝田 1 丁目 13-16

TEL 06-6376-0853



主催：宝塚大学 25 周年記念事業実行委員会



宝塚大学

<http://www.takara-univ.ac.jp/>